



# TOGAKU PRESS

TOGAKU生の活躍を  
応援するマガジン

TOGAKUの

## オンライン授業

成長を実感している学生も多数！  
春学期からスタートした  
オンライン授業のリアルとは？

コロナ禍における  
TOGAKUのこれから

在学生が語る

“わたしたちは、どんな時でも前向き！”

今年は12月にオンライン開催！

第28回 東洋学園大学フェニックス祭 — 郷郷祭り —

“みんなの笑顔をつなぐ”

学生会長 白鳥さくらさん(人間科学科3年)  
詳しくはP.12へ





—リモートでも「伝わる」授業を目指して—



# TOGAKUのオンライン授業

新型コロナウイルス感染症対策として、5/1（金）からスタートした本学のオンライン授業。学生たちの履修率・出席率は非常に高く、大きなトラブルなく春学期を終えることができました。本学がオンライン授業で大切にしているのは、リモートでも「伝わる」授業であること。その実現に向けた取り組みや工夫を、実例とともにレポートします。



## 春学期は全授業をオンラインで実施 教員は「伝わる」授業を模索し、学生は「自彊不息」を実践



新型コロナウイルスの影響で、すべての授業がオンラインで行われた春学期。学生はもちろん、教職員にとっても初の経験であり、当初は不安を抱えながらのスタートでしたが、結果的にはスムーズに学びを進めることができました。

オンライン授業の導入にあたり、本学が何より大切にしたのは、遠隔であってもきちんと「伝わる」授業であること。在学生から「教員との距離が近い」と評され

る本学の強みをオンライン授業にも引き継ぎ、各担当教員が学生一人ひとりの習熟度を見極めながら、丁寧に授業を進めてきました。

また、授業形態はあえて画一化せず、科目の特性や履修人数などを踏まえた上で、個々の担当教員が判断。課題の提示・提出を求める「自習中心型授業」だけでなく、自作のスライドや動画を使った「オンデマンド型授業」を取り入れる教員

も見られ、各教員が「伝わる」授業のために奮闘していました。

学生たちは新しい授業スタイルにも素早く順応し、能動的に学んでいた様子。むしろ、オンラインになったからこそ「自分でタイムマネジメントしなければ」という意識が高まり、空き時間に予習をしたり、興味ある分野の研究を深める学生も増えてきたようで、建学の精神「自彊不息（自ら弛まず努力を続ける）」は健在です。

春学期はこんな授業を実施!

## オンラインでの実践型授業の一例

オンライン授業は、一方通行の授業展開になりがちですが、学生との双方向性を確保することも大切です。特に実践を重視した授業では、教員・学生間、または学生同士のリアルタイムなコミュニケーションが不可欠。ここでは、WEBツールを駆使したインタラクティブな授業の一例をご紹介します。



英語のオンライン授業

ABC

### WEBツールを介したやり取りで教室のようなライブ感を実現

本学の英語教育は、頭で理解するだけでなく、「実際に使えるようになること」を目標としており、聞く・話す・読む・書くの四技能すべてにおいて実践的な授業を行っています。

そのため、たとえオンライン授業であっても、学生と教員のリアルタイムなコミュニケーションが不可欠。この春学期、教員たちはさまざまなWEBツールを駆使して学生とつながり、双方向性を確保した授業を行ってきました。

たとえば、あるリスニングの授業では、ビデオ会議ツールを介して教員が解説するだけでなく、その場で学生を指名・回答させるシーンも。また、あるライティングの授業では、掲示板ツールを活用して課題を提示。学生が掲示板に英文を書き込み、それを教員が即座に添削するとい

うやり取りも見られました。

このように、科目の特性に合わせてツールや進め方を工夫することで、教室と変わらないライブ感あふれる授業が可能に。タイムリーな発言や回答が求められるため、学生たちは緊張感を持って授業に臨んでいたようです。また、教員側も、オンラインならではのレスポンスのよさに魅力を感じているようでした。



教室での英語授業の様子(2017年)。スピーカーやマイクを備えたスマホは、オンライン授業でも大活躍

#### 授業の一例

##### リスニング



1年次「基礎英語3A」のあるクラスでは、授業にMicrosoft Teamsのビデオ会議やチャットを活用。教員と学生がリアルタイムにつながり、英文の聞き取り・回答・解説などが行われたほか、学生同士がペアになって英語での会話に挑戦するシーンも見られました。

##### ライティング



1年次「基礎英語1A」のあるクラスでは、授業にMicrosoft Teamsの掲示板を活用。教員が掲示板内に「オーディオ音声を読み、英文を書き取る」などの課題を提示し、学生が回答を書き込んで投稿、間違いがあればその場で指摘するという授業が行われていました。

### オンライン模擬就活

#### 世の中の動きにいち早く対応するため模擬就活の授業にZoomを導入!

1~3年次にキャリア教育科目を設け、学生の将来設計や就活をサポートしている本学。3年次の授業では“模擬就活”を行い、グループ面接やグループディスカッションのスキルも磨きます。

今年度の模擬就活は、新型コロナウイルスの影響で「オンライン選考」を導入する企業が増えたことを考慮し、オンラインで実施。実際の選考活動で多用されているWEB会議ツール・Zoomを使用し、実践的な就活対策を行いました。

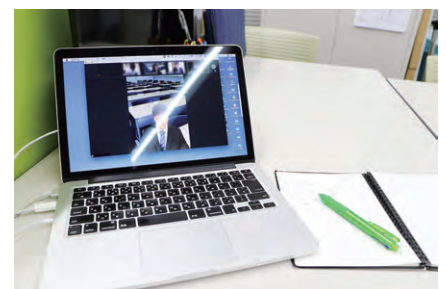
授業ではまず、予行演習を実施。グループ面接とグループディスカッションの一連の流れを体験するとともに、Zoomの操作方法も学びました。

本番は後日、改めて開催。学生は就活スーツに身を包み、自宅からZoomにログイン。そこに面接官の外部講師がリモート参加し、グループ面接とグループディスカッションを行いました。

オンライン上で外部の面接官

と話すという初めての経

験に、「緊張した」という学生が多数でしたが、「いい勉強になった」、「反省点を踏まえて改善したい」という前向きな声も聞かれました。



学生からは「就活へのモチベーションが高まり、インタビューや説明会の応募につながった」との声も

模擬就活の授業は、就活への本気度が高まる分岐点。オンラインで行われた今年度も、昨年度と遜色なく真剣に取り組む学生たちの姿が見られました(坊隆史先生)



過去、企業の人事部に在籍していた坊先生をはじめ、実務経験を持つ教授陣が手厚くサポート



## 進化するオンライン授業

# スペシャリストを招いたリモート講義も！



本学では、「オンラインのメリット」を活かした授業にも積極的に挑戦しています。そのひとつが、オンライン上にゲスト講師を招いて行うリモート講義。学生たちは、自宅にいながらにして各界のスペシャリストとつながり、社会の最前線を学んでいます。

## マーケティングのプロを招聘！ 現代経営学部の特別講義

有名企業との産学連携プロジェクトを毎年実施するなど、ビジネスの現場を肌で感じられる授業を行ってきた現代経営学部。オンライン授業下でもその歩みを止めず、企業の方をゲストに招いたリモート



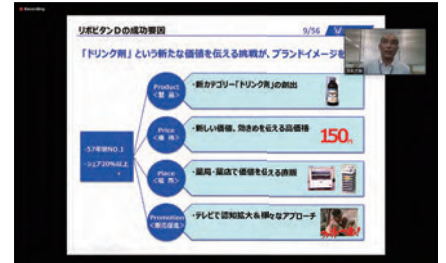
画面左から時計回りに、八塩圭子准教授、大正製薬(株)の星氏、本庄加代子准教授、大正製薬(株)の吉田氏

ト講義という形で、学生たちが生きたマーケティングに触れる機会を設けました。

今回、ゲストに招聘したのは、大正製薬株式会社の星新児氏と吉田輝史氏。「リポビタミンDの4P戦略」と題し、マーケティング関連科目の特別講義として7月に授業を実施しました。

講義では、「リポビタミンD」を事例として、商品の4P(プロダクト、プライス、プレイス、プロモーション)について星氏と吉田氏がライブ解説。約50名の学生が受講し、チャットによる質疑応答も活発に行われました。

受講した学生からは「授業で習った4P戦略を、身近なりポピタンドで説明していただき、分かりやすく理解できた」、「4P



“ドリンク剤”という新カテゴリーを創出し、57年間シェア1位というヒット商品のマーケティングを学んだ

が経営の上でとても重要なことだと実感した」など、事例を通じて理論への学びが深まったという声が多数寄せられました。

なお、同講義の録画素材は、「マーケティング入門」や「マーケティングリサーチ」の授業でも教材として使用。録画素材を有効活用できるのも、オンライン授業ならではのメリットといえます。



## 市職員やNPO職員を招聘！ 人間科学部科目「地域ではたらく」

人間科学部科目「地域ではたらく」(宮園久栄教授)では、地域を支えるさまざまな職業の方をゲスト講師に招き、地域社会における課題や取り組みについて学んでいます。オンライン授業下では、Microsoft Teamsの会議機能を利用し、リモート出演という形でゲストの方々に登場いただきました。

6/9(火)には現役の保護観察官を迎え、実際の仕事内容についてお話いただ

きました。国家公務員であり、社会を支える仕事でありながら、あまり知られていない保護観察官という職業。受講学生からは「仕事内容を知って興味がわいた」という声も聞かれました。

また、6/23(火)には、昨年度もゲスト登壇いただいた多摩市職員の木村祐大さんによるリモート講義を実施。市役所職員の多岐にわたる業務について解説いただき、学生からは「行政の役割や職員の仕事内容が時代とともに変化していると感じた」などの感想が聞かれました。

さらに7/7(火)には、NPO法人ピア

サポートネットしづやの石川隆博氏をゲストに招聘。地域の人々の声を拾い、支援の輪を広げるNPO法人の活動について解説いただきました。



NPO法人ピアサポートネットしづやの石川氏によるリモート講義。若者の自立支援などについて学んだ



春学期のオンライン授業、実際受けてどうだった？

## STUDENT VOICES

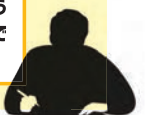
ほぼ毎日、課題のための文章を書いていたので、タイピングが早くなったし、Officeなどのソフトも使いこなせるようになりました。文章を考え、書く力も磨かれたと思います。

動画がメインの授業では、教科書を読むより内容が頭に入りやすく、効率よく学べました。

家だと油断して、授業に出席するのを忘れそうになったことも。PCのデスクトップに科目ごとのフォルダをつくり、時間割の配列で表示させて、出席忘れを防いでいました。

ほぼ問題なくこなせましたが、英語の微妙な発音など、オンラインだとわかりづらいと思うこともありました。

教室での授業だと、つい友達としゃべってしまったりということがありますが、オンラインでは勉強に集中できました。



コロナ禍における

# TOGAKUのこれから

コロナ禍により依然として制約は多いものの、秋学期からは対面授業がスタート。「ニューノーマル」に適応しながら進化を続ける本学の取り組みをご紹介します。

## 今後の授業について

### 秋学期から一部科目で対面授業を再開 オンライン授業もメリットをより進化させる



秋学期からは、感染防止に配慮したうえで、全学年において週1回の対面授業を実施。さらに実習や実験が必要な科目を中心とした一部科目も対面で開講しています。

対面授業に先駆けて開催されたオリエンテーションでは、1年生の初登校が叶いました(写真下)。また、ゼミ生と初顔合わせした3年生、仲間や担当教員と久しぶりに再会した2年生・4年生など、それぞれに歓喜する

姿が見られました。対面授業の再開が進むことで、「オンラインだと他の学生の様子がわからず不安」といった学生の孤立感も解消されていくでしょう。

一方で、オンライン授業についても「通学時間がないことで出席しやすい」「学生全体としての成績が向上している」「人気講義の履修人数制限を緩和できる」「遠方の講師のリモート招聘、海外と繋がっての授業

が可能」など、オンラインならではのさまざまなメリットが見えてきました。教員からは「より高度なオンライン授業を提供したい」との声も挙がり、2021年度に向けてシステム面を含めた改良・改善も検討中。2021年度に向け、対面授業・オンライン授業ともさらに充実した教育を提供するための模索を続けていきます。

## 留学・国際交流の支援

### オンラインで海外の大学生と交流。留学準備のサポートも強化



今夏に続き、来春出発の留学プログラム(短期・長期)も残念ながら中止となりました。

そんな中、新たな国際交流の形として、国際交流センターではオンラインでのイベントを多数企画しています。アメリカのサム・ヒューストン州立大学とのリモート交流イベントを皮切りに、年内には韓国・中国の大学生とのオンライン交流イベントが予定されて

います。さらに、長期留学希望者に対しては、インターン生によるオンライン英語学習や情報交換の機会を設けるなどのサポートを実施しています。

国際キャリアプログラム(ICP)については2年次にネイティブ・スピーカー教員による英語で学ぶ専門科目を追加、留学相応の教育を提供できる環境作りを進めています。

今後も留学プログラムの再開を目指して外務省や留学エージェント、現地大学からの情報を集めつつ、日本にいながら海外の大学生と交流するチャンスを増やすことで、留学希望者や国際交流に興味がある学生たちのバックアップを続けていきます。

## 就職活動支援

### キャリアセンターが対面・オンラインでの支援を強化



キャリアセンターでは、コロナ禍での就職活動支援として、オンラインでの面接練習やセミナー開催、メールでのエントリーシート添削などにいち早く対応。さらに、完全予約制・少人数に限定するなど感染対策に配慮しながら、対面での学内企業セミナーや就職支援講座も再開しました。

企業側の採用活動も徐々に進んできた秋学期からは内定報告も増えており、現在はゼミの教員と連携して4年生の就職活動状況を把握し、内定獲得に向けたバックアップを行っています。

また、3年生に対しては全員と面談を行うほか、年々早まる採用活動に備えて就職支

援講座も続々と開催。年末には企業を招いてのセミナーも計画しています。さらに、SPI講座や就活ワンポイントアドバイスのライブ配信など、1、2年生が参加しやすい企画も新たにスタート。オンラインと対面を併用し、学生一人ひとりの進路を手厚くサポートします。





春学期は課題が多くて大変でした。  
今のTOGAKUを表現するなら  
「すごく勉強する学校」です!



金井真由さん  
(現代経営学科3年)

3年次から編入し、ゼミの仲間と  
会えないまま春学期が終了。  
対面授業が始まる秋学期は  
みんなと仲良くなりたいです!



端山大斗さん  
(グローバル・コミュニケーション学科3年)

12月に予定されている  
フェニックス祭が今から楽しみ!  
ダンスサークルやゼミの仲間と  
出し物ができたらいいな。



似内美優さん  
(グローバル・コミュニケーション学科3年)

### 在学生が語る

# “わたしたちは、 どんな時でも前向き!”

## —「ニューノーマル」は成長のチャンス—

想定外な事態へのフレキシブルな対応力や、ピンチをチャンスに変える発想力は  
これからの社会を生き抜くために必要なスキルといえます。  
仲間に出会えない、留学が延期になった、サークル活動の場が奪われた……。  
みんなそれぞれに不安や戸惑いを抱えながらも  
現実を受けとめ、逆転の発想で成長するためのターニングポイントに変えるなど、  
置かれた状況の中で前を向いて歩き始めています。  
そんな在学生たちの声や取り組みをご紹介します!

秋学期は対面での  
ゼミ活動がスタート。  
ゼミ長として、  
仲間が発言しやすい  
雰囲気づくりをしたいです。

通学に2時間かかるので  
オンライン授業になったことで  
生活にゆとりができました!

春学期中にゼミ仲間と  
「VRオープンキャンパス」を企画。  
Zoomで打ち合わせを重ねるうちに  
仲間との絆も深まりました!

春学期は我慢の日々でした。  
秋学期は免許を取りに行く予定。  
最近、子どもにダンスを教える  
バイトも始めました!



菅原優作さん  
(グローバル・コミュニケーション学科3年)



八谷誓龍さん  
(人間科学科3年)



諸橋明音さん  
(現代経営学科3年)



早川拓海さん  
(現代経営学科3年)

夢や目標に向け、「今できること」を！

# コロナ禍で奮闘する TOGAKU生の声

新型コロナウイルスは、留学や就活などにも大打撃を与えました。

そんな状況下でも、学生たちは「今できること」をコツコツ積み重ねてきたようです。

## 「学部留学は延期になったけど 前を向いてポジティブに！」



藤原雄希さん  
(国際キャリアプログラム(ICP)／  
英語コミュニケーション学科2年)



ICPを履修する藤原さんは、本来であれば秋学期からアメリカの大学に学部留学予定で、文部科学省の「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」にも選出されていました。春学期は留学を見据え、IELTS対策の授業をはじめ、全13コマの授業を受講したそうです。

「春学期は、毎日毎日授業と課題に追われていました。ICPはもともと課題が多いので、通常通りともいえますが(笑)、オンラインになってからのほうが勉強時間は増えましたね。留学のことなど、先が見えなくて不安でしたが、ICPのメンバーと電話したり、『トビタテ！〜』で知り合った他大学の人と情報交換したりしてモチベーションを保っていました。結局、留学は延期になってしまいましたが、ICPでは秋学期からネイティブ・スピーカーの先生による専門科目がスタート。講義は英語で行われており、なかでも、有名大学の先生に教わる国際関係学の授業は、自分の興味ある分野なのでとても楽しいです。留学は実現できるか未定ですが、諦めてはいません。この期間を有効活用してIELTSの点数を上げて、留学できる大学の選択肢を増やしたいです！」

## 「教育実習が延期になり 毎日勉強に明け暮れました」



R.W.さん  
(英語コミュニケーション学科4年)

中学時代からの夢だった「英語の先生」を目指し、大学に進学したWさん。教職課程を履修し、3年次からは「ちば！教職たまごプロジェクト」にも参加。週1回、千葉県の中学校で授業補助を行ってきました。4年次の今年、5～6月に教育実習が行われる予定でしたが、コロナ禍で10月まで延期に。春学期は、教員採用選考に向けてひたすら勉強に励んでいたそうです。

「4年生なので春学期は授業が少なく、塾講師のアルバイトも休みにになったので、教員採用選考に向けて毎日勉強していました。千葉県の教員採用選考は7月に1次選考が行われ、例年の集団面接や討論がなくなったりもしましたが、無事に通過。8月の2次選考に向けて、夏休みに

塾講師の  
バイト中！

教職担当の先生が面接や模擬授業の指導を行ってくれました。また、バイト先の人事の方にもご指導いただきました。秋学期は教育実習や卒論に力を入れつつ、英検1級の取得も目指したいです」

## 「勉強に趣味、学スタの活動も！ 春学期は予想外に 充実の日々でした」



茅原優樹さん  
(現代経営学科3年)



オンライン授業が自分に合っていたという茅原さんは、春学期に成績がアップしたそう。勉強に励みつつ、空き時間には趣味も満喫。さらに、オープンキャンパスの学生スタッフとしても活躍しました。

「春学期の授業はパワーポイントの動画が多く、途中で止めてじっくり見たり、その場で調べながら学べて理解しやすかったです。課題は多かったけど、自分なりにオン・オフを決め、ギター練習やトレーニング、ゲームなどの息抜きをしながら進めていました。春学期は、オンラインオープンキャンパスに関わったのもいい思い出。大学紹介のアニメーション動画でナレーションを担当し、感情の込め方に苦労しつつもやりがいがありました。OC当日は高校生とリモートで話し、大学についての質問に答えました。秋学期の目標は、ゼミ仲間と絆を深めて『大学でこれをやった』と言えるような研究に取り組むこと。就活に備えて説明会やインターンシップに参加したり、英検や漢検などの資格も取得したいです」

OCの学スタ  
を担当！



## 「コロナ禍に翻弄されつつも 無事内定を獲得できました」



尾藤七海さん  
(グローバル・コミュニケーション学科4年)



旅行業界に憧れて、高校時代から英語やサービスビジネスについて学んできた尾藤さん。早めの行動が功を奏し、株式会社エスクリの内定を獲得しましたが、就活中はコロナ禍を実感したようです。

「3年生の夏前にエスクリの説明会へ何度か行き、人事の方に顔と名前を覚えてもらって、夏のインターンに誘われて参加しました。そして、今年1月に内定をいただいたのですが、せっかくならもう少し活動してみようと思って。でも、憧れていた旅行・航空系の企業はコロナ禍の影響が大きく、面接まで進んだものの途中で採用活動が中止に。他の会社も、徐々に説明会や面接をオンラインで行うところが増えてきて戸惑いました。Zoom越しの面接だと、微妙な時差があったり相手の反応がわかりづらく、自分らしさを出し切れないところがあったので……。そんな中でも内定をいただいた会社はありましたが、最終的に『自分に一番合っている』と感じたエスクリに決めました。今後の就活はオンライン面接が増えると思いますが、後輩には『オンラインでの自分の見せ方を研究し、自分の言葉で話すことを大切に！』と伝えたいです」



あの舞台で、また輝ける日を信じて！ **TOGAKU SPORTS**

# 激動の春を過ごした主将たちの想い

今年の春から夏にかけては、各部とも練習自粛や大会中止が相次ぎ、苦しい時期を過ごしました。そんな中でも希望を捨てずにがんばってきた各部主将に、今の想いを聞きました。

## 男女テニス部

本年度は、関東学生テニス連盟の公式大会（春関・夏関）が10月以降に延期、団体戦である関東大学テニスリーグは中止という未曾有のシーズンに。自粛期間から6月下旬の練習再開を支えた前主将2人にこの半年と10月からの新体制について聞きました。



女子テニス部主将(2020年度)  
渡部亜耶乃さん(人間科学科4年)

今年、4年生はラスト1年に賭ける思いがあり、春関・夏関が延期になる中、リーグ戦が実現する可能性に賭けていました。しかし、8月中旬に中止が決定。自分はそのころ「最後はみんなとテニスを楽しもう」と切り替え、周りにも声掛けをしていましたが、やはり4年生にとっては不完全燃焼の1年だったと思います。

練習は3月末から約3カ月中止になり、こんなに長期間テニスができなかったのは自分にとって初でした。練習再開後は、人数や時間の制限がある中、同期とも相談しながらメニュー内容を工夫しました。みんなテニスが好きだから、オフの日にも自主練に励んでいたようです。

ここ最近、3年生は「最上級生になる」という自覚が芽生え、それがプレーからも伝わってきています。特に新主将の西川和志は、「彼なら絶対に部を引っ張っていく」と思い、後任を託しました。僕らが不完全燃焼で終わった分、後輩たちには来年、試合で暴れてほしい。3部リーグの他大学と比べても力は劣っていないと思うので、コロナを跳ね返すぐらいの活躍で盛り上げてほしいです！

自粛期間中はコートに出られず部員のみならずと会えない中、ビデオ通話やメールでコミュニケーションを取るよう心掛けていました。6月下旬から練習が再開したものの、感染対策で制約も多く、主将としての自信をなくした時期もありました。そんな時に支えてくれた同期の存在はありがたかったです。

リーグ戦の開催を期待し、「下級生に、試合を通じて上級生としての背中を見せたい」と思ったけれど、結局中止に。「それなら練習で見せていこう！」と4年生が団結し、下級生もしっかりついてきてくれました。

この先、10月以降の個人戦に出場する4年生もいますが、私は引退を選択しました。同期には「頼りない私と一緒に部を支えてくれてありがとう」と言いたいです。また、新主将の中野寧子には、「一人で抱え込まないで」と伝えたい。下級生は人数が少ない分、全員で協力してがんばってほしいです。

今年は高校生も、インターハイの中止などで悔しい思いをした人がたくさんいると思います。大学生になったら部活に入って、悔しさをバネに活躍してほしいです！



男子テニス部主将(2020年度)  
土屋薫平さん(人間科学科4年)

## 硬式野球部

東京新大学野球連盟2部に所属し、1部昇格を目指す硬式野球部ですが、春・秋のリーグ戦が中止に。10月中旬現在は、秋に開催予定の代替トーナメント戦に向けて練習に励んでいます。

野球はチームプレーなので自粛期間中は辛かったです。Zoomを使ってみんなでトレーニングをするなど、チームワークの維持に努めました。また、自分に求められるプレーの再考、自己管理の徹底など、個々が自分自身を見つめ直す機会にもなりました。

春季リーグが延期になった時は、「まだ秋がある!」と思いましたが、8月下旬頃に秋季リーグの中止が決まり、さすがに頭が真っ白に。「今年こそ1部昇格」という夢が途絶え、引退を考える4

年生もいましたが、「代替トーナメントに向けてがんばろう」と説得し、練習に取り組んできました。

今年のチームは、同じ苦勞を味わってきたからこそ団結力が高い。また、リーグ戦がなくなり、レギュラー・非レギュラーに関わらず一緒に練習しているので、上級生と下級生の距離も縮まっていると感じます。仲間たちと野球ができる喜びをかみしめつつ、最後にトーナメント優勝という成果を残したいです！



硬式野球部主将  
渡邊陸さん  
(現代経営学科4年)

## スケート部

関東学生、東インカレをはじめ、今年度の大会のほとんどが延期や中止に。インカレ（日本学生氷上競技選手権大会）の代替大会が来年1月に予定されています。

モチベーションを保つのが大変ですが、来年1月に試合ができると信じて、練習に励んでいます！



スケート部  
戸室梨々奈さん(人間科学科3年)



オンラインでの活動や情報発信中の団体も！

# サークル&学生団体の最新活動状況

本学には委員会、クラブ、サークルなど30近い学生団体があり、オンラインでの活動や秋以降の活動再開に向け試行錯誤を続けています。そんな中で、各団体から届いた声を一部紹介します。

アンケート内容 ①春学期の活動状況  
②秋学期の活動予定 ③1年生へのメッセージ



## Heavenly Gospel Team

ゴスペルクラブ

- ①3月頃に予定していた定期演奏会が中止に。練習はオンラインでボイストレーニングや基礎トレを行いました。
- ②フェニックス祭に向けて、パートごとだけでも集まってスタジオで練習したいです。
- ③1年生に向けて、動画配信やオンライン説明会など行っていききたいです。SNSもぜひチェックしてください！

Twitter: @heavenly\_tgu



## 東洋学園大学女子バレーボール部(同好会)

バレーボールサークル

- ①練習や合宿、他校との練習試合などを予定していましたが、中止になってしまいました。
- ②検討中です。
- ③興味のある方は、サークル活動が再開したら体育館に遊びに来てください。初心者も大歓迎です！

Twitter: @volleyball\_tgu



## Healthy child

屋内スポーツサークル

- ①体育館が使えず、活動できませんでした。毎年行っている新入生歓迎会や夏旅行なども中止に。
- ②未定です。
- ③うまく活動ができなくてごめんなさい。いつか活動できるようになった時は、みんな楽しんで思い出を作りましょう！

Twitter: @HealthyChild2

## Lover's

音楽サークル

- ①YouTubeにチャンネルを開設し、各自が演奏動画投稿をして、部員同士でチェックしていました。
- ②今後も動画投稿を中心としたオンライン活動を継続していく予定です。
- ③みなさんと音をかき鳴らせる日を楽しみにしています。一緒に活動したい方はご連絡ください！

Twitter: @Lovers11010



## TOGAKUパラスポーツ

パラスポーツクラブ

- ①オンライン体験を行いました。
- ②オンライン体験を実施予定。状況次第で活動が増えるかもしれません。
- ③身体を動かしたいと思ったら、ぜひご連絡ください！

Twitter: @TOGAKU2



## Rhyme

軽音楽クラブ

- ①引退ライブ、新歓ライブなどが中止に。
- ②部内ライブやフェニックス祭でのライブを予定しています。
- ③メンバーは面白くて個性的ですが、ライブになるとかっこよく豹変。音楽が好きな方と一緒に活動できることを楽しみにしています！

## CATS

アクロバットサークル

- ①予定していたイベントが延期に。ほぼ活動できませんでした。
- ②未定。感染対策に配慮しながら活動できる方法を考えたいです。
- ③サークル活動ができるようになれば、日々刺激的な毎日が待っているはずです！

Twitter: @Cats13015616



## バドミントン部

バドミントンクラブ

- ①体育館が使えず、活動できませんでした。大会も中止になりました。
- ②大学から許可が出れば活動再開したいと思っています。
- ③週2回、放課後の練習再開を目指しています。興味がある方はご連絡ください。

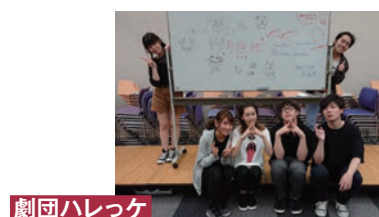
Twitter: Togaku\_Bad



## Extreme☆Steppers

ダンスクラブ

- ①例年、春と夏に会場を借りてイベントを行っていますが、今年はすべて中止になりました。
- ②1年生向けに、大人数にならないように配慮して、体験レッスンを開きたいです。
- ③1年生と顔を合わせられるように、コロナ対策をしながら活動を考えていきたいです。



## 劇団ハレっけ

演劇サークル

- ①2月末の公演が中止に。上演予定だった台本の読み合わせや個人トレーニングをオンラインで行いました。
- ②秋学期からは、新たな演目に挑戦する予定。月1回、学外スタジオでの活動も検討中です。
- ③人数は少ないけれど、仲がいいサークルです。興味がある人はぜひ気軽に連絡してください。

Twitter: Drama\_Harekke



## 卒業記念委員会

委員会

- ①出版社の方と、卒業アルバムについての打ち合わせをオンラインで行いました。
- ②未定です。
- ③この未曾有の危機を乗り越えれば、もう怖いものはないはず。お互いがんばりましょう！



## 体育祭運営局

委員会

- ①オンラインミーティングをしていましたが残念ながら春学期の体育祭は開催できませんでした。
- ②未定です。
- ③秋学期の開催を検討中です。決まり次第お知らせします。

## サンダース

バスケットボールサークル

- ①各々が自主練習。スキルアップやできることを探す良い時期だったとポジティブに考えています！
- ②練習できるようになったら、いつも以上に練習したいです。
- ③通常は、毎週金曜日に体育館でバスケットボールを行っています。活動再開したら、初心者も経験者の方もぜひ！

## ESS

英語サークル

- ①オンラインで活動しようと思いましたが、人数も少ないため、やむを得ず活動自粛しました。
- ②状況によりますが、オンライン体験入部を検討しています。
- ③ESSに関するお問い合わせはいつでも行っています。オンライン体験入部なども検討中なのでご連絡ください。

## Cetus

絵画・造形・被服サークル

- ①コミュニケーションを取りながらの創作ができなかったため、個人で創作活動をしました。
- ②未定です。
- ③コロナの時期で大変だと思いますが、一緒にがんばりましょう。

## Creators

漫画創作サークル

- ①オンラインで活動しました。
- ②検討中です。
- ③先輩たちと絵を描きながら、楽しくコミュニケーションできるサークルです。よかったら参加しませんか？

Twitter: @Creators\_tyg

このほかにも様々な団体が活動中！



# TOGAKU NEWS

最新ニュースはこちら



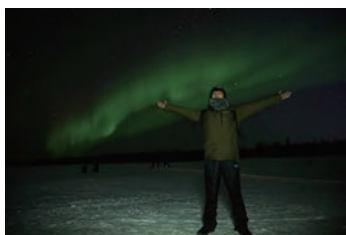
学生たちの活躍や、学校からのお知らせなど  
キャンパスライフにまつわるニュースをお届け!



優秀賞

「前哨戦」

撮影者：グローバル・コミュニケーション学部  
3年 木野下さん  
撮影地：スペイン・サラマンカ(2019年度サラ  
マンカ大学への短期留学中に撮影)  
コメント：サッカーの試合の前日、広場に行く  
と美しいスペインの国旗カラーでライトアップ  
されていました。



いいね賞

「-30℃とオーロラ」

撮影者：人間科学部4年 高木さん  
撮影地：カナダ(2019年度カルガリー大学へ  
の短期留学中に撮影)  
コメント：海外のツアーに参加して撮影。参加  
者とのコミュニケーションも楽しかったです。



優秀賞

「アンコールワットをつまんでみた。」

撮影者：現代経営学部3年 伊東さん  
撮影地：カンボジア・アンコール遺跡群  
(2019年度カンボジア海外インターン  
シップ中に撮影)  
コメント：カンボジアの旅行会社での  
短期インターンシップ中に撮った写真  
です。



グランプリ

「Happy memory」

撮影者：グローバル・コミュニケーション学部3年 関野さん  
撮影地：アメリカ(2019年度カリフォルニア大学アーバイン校  
への短期留学中に撮影)  
コメント：ざりざりの所まで行き、きれいな夕日の反射を楽しん  
でいたときの写真です。

## フォトコンテスト

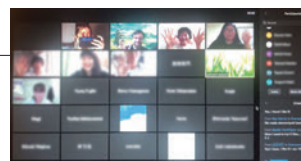
### 留学フォトコンテストの受賞作品が決定!

7/10(金)まで国際交流センターの公式イン  
スタグラムで開催されていた、在学生の留学フ  
ォトコンテスト「Togaku Abroad フォトコン  
テスト2020」の受賞作品が決定しました。

グランプリは、アメリカ短期留学に参加した  
グローバル・コミュニケーション学科3年生の  
作品「Happy memory」が受賞。また、優秀賞2  
作品と、インスタグラムで「いいね」が一番多く  
獲得した「いいね賞」も決定しました。

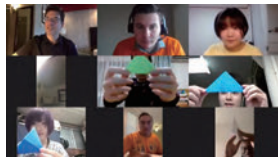
7/20(月)には、オンライン上で授賞式が行  
われ、在学生や教職員ら約50名が参加。撮影  
者による作品の思い出や留学中のエピソード、  
今後留学に行きたい学生へのアドバイスなど  
が語られました。

受賞作品を含めた全応募作品は、国際交  
流センターの公式インスタグラム(@toyo\_  
gakuen\_iec)で公開中。ぜひご覧ください!



## Virtual SHSU×TOGAKU

### 今年はオンラインで開催! SHSU学生との交流イベント



6/6(土)と13(土)の2回にわたり、本学とアメリカのサム・ヒュースト  
ン州立大学(SHSU)との交流イベント「Virtual SHSU×TOGAKU」を  
オンライン上で開催。本学卒業生を含む、のべ37名の在学生が参加し、  
SHSUの学生とリモートで交流しました。

例年、毎年6月にSHSUの学生が来学し、サマースクールを実施してき  
ましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止に。そんな  
中、本学からの提案でオンライン交流イベントが実現しました。

当日は、Zoom上に参加者が集まり、リモート折り紙体験やクイズ大  
会、フリートークなどを実施。参加学生からは、「最近、授業以外で英語を  
話す機会がほぼなかったの、とても貴重な時間でした」などの声が聞か  
れ、英語を使った会話や異文化交流を満喫できたようです。

## English Lounge

### オンラインで気軽に英語体験を! “Virtual English Lounge”を活用しよう

ネイティブ・スピーカーの教員やインターンとの交流や英語  
学習の場である“English Lounge”。春学期に引き続き、秋学期も  
“Virtual English Lounge (VEL)”としてオンライン上にオープンし  
ています(利用は在学生限定、Microsoft Teamsを使用)。

VELには“Book Club”や“Togaku Abroad”などテーマごとにチ  
ャネルがあり、英語のチャットでコミュニケーションが可能。また、昼  
休みの“Lounge Time”(授業期間内の平日12:15～12:50)には、  
ネイティブ・スピーカーの先生や英語好きな学生たちがオンライン  
上に集まり、自由に会話を楽めます。

まだVELを利用したことのない在学生、特に1年生はぜひ気軽  
にご参加ください。インターンのMaslin(マズリン)さんをはじめ、気さ  
くな先生方と仲間たちが優しく迎えてくれます!



## 本庄ゼミ3年生が考案した「VRオープンキャンパス」企画が実現!

現代経営学科「マーケティング戦略/プロジェクトマネジメントゼミ」(本庄加代子准教授)の3年生は、今年度、「VR」をテーマにした2つのプロジェクトを立案。そのひとつである「VRオープンキャンパス」企画が形になりました。

ゼミ生たちは、同企画の一環として、ホームページ上でキャンパス見学気分が味わえる「360° VRコンテンツ」と、見学の臨場感を高められる「スマホ用VRゴーグル」を考案。ゼミの仲間とオンライン会議やSNSでの情報共有を重ねて企画を練り上げ、大学の入室職員に対してプレゼンテーションを行いました。

試行錯誤を重ねて完成した「360° VRコンテンツ」は、オープンキャンパス特設ページにて公開中。また、同サイトからマイページ登録した高校生には、「スマホ用VRゴーグル」が配布されることになりました。

「自分たちの企画が実現して嬉しかった」とプロジェクトリーダーの諸橋明音さん。学生自身が企画を考え、実行していくことを推奨している同ゼミならではの取り組みとなりました。

■360° VRコンテンツは下記サイトで公開中  
[https://life.tyg.jp/open\\_campus/](https://life.tyg.jp/open_campus/)

VRコンテンツはこちら



## 人間科学科

### 地元商店街を応援したい! 学生発案のバーチャル盆踊りを開催

8/29(土)、人間科学科の宮園ゼミが企画した「大横丁商店街バーチャル盆踊りwith TOGAKU」がZoom上で開催されました。

同ゼミでは毎年、大学近くの大横丁商店街が主催する納涼祭のお手伝いをしており、子ども向けの出店や防犯クイズ大会などの企画を通じて地元の方々と交流を深めてきました。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で納涼祭が中止に。それを知った同ゼミ生たちが、「商店街を応援したい」とバーチャル盆踊りを企画しました。

ゼミ生たちはオンラインで連絡を取って企画を練りつつ、ゼミブログで事前に盆踊りの練習動画をアップしたり、応援ソングとして「花は咲く」の歌をつなげた動画を公開したりと、夏休み返上で活動。初の試みとなったバーチャル盆踊りは無事成功し、ゼミ長の保田さんは「みんなで踊ることで、みんなとつながる感覚が味わえて楽しかったです」と話していました。

## 公開講座 (リベラルアーツ)

### 一流の講師から幅広い教養を学ぶ 「公開講座」をオンラインで開講

本学では、学問領域にとらわれない幅広い教養(リベラルアーツ)を一流の講師・文化人から学ぶ公開講座を設けています。2020年度の公開講座では、9/15(火)より「中東情勢」や「日本美術」などについて全5回の講演をオンラインで開講しています。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

■公開講座ホームページ

<https://www.tyg.jp/koukaikouza/k-kouza/>



このほか、一般の方々にもご参加いただける公開講座や、生涯学習講座について、ホームページで随時情報を発信中です。



## 現代経営研究会

### 企業トップに経営を学ぶ 「現代経営研究会」開催中

第13期目となる「現代経営研究会」を9/30(水)から全6回にわたって開催中です。本研究会は、企業のトップを招聘し、「現在進行形」で生じている経営課題を語っていただく講演会シリーズで、どなたでもご参加可能です(聴講無料・事前登録制)。今年度は、新型コロナウイルス感染対策のためZoomウェビナーでの開催となります。

なお、今年度のテーマは「チャレンジ～ニューノーマルを見据えて～」。企業トップの方々からこれまで行ってきた経営におけるチャレンジを語っていただき、ニューノーマルの時代を生き抜くヒントを示していただきます。詳しいスケジュールや受講方法は下記ホームページをご参照ください。

■現代経営研究会ホームページ

<https://www.tyg.jp/koukaikouza/business/>

## 就活サポート

### キャリアセンターで 3年生向け企画続々!

キャリアセンターでは、秋学期もさまざまな進路支援・キャリア支援を行っています。

3年生向けとしては、既に9月のオリエンテーション時にSPI模試、そして履歴書添削企画を実施。現在、進路希望カードの提出及び全員面談を実施中です。

さらに、10月は昼休みの時間帯に「ゆるっと就活」と題した就活超入門のライブ配信イベントを開講、11月からは「モク5就活Nav」で題する就活準備講座を木曜5限の時間帯に同じくライブ配信で開講します。

年末や来年2月・3月には業界研究セミナーや学内合同企業説明会、そして就活直前講座も多数用意する予定です。コロナ禍であっても、万全の体制でみなさんの就活をサポートします!

／ 今年は12月にオンライン開催！ ／

# 第28回 東洋学園大学 フェニックス祭 — 郷郷祭り —

みんなで  
盛り上がりよう！



毎年、10月半ばに行われてきた本学の学園祭「フェニックス祭」。  
今年も12月20日（日）にオンライン開催を予定しています！



## 学園祭運営局長に聞きました！ 初のオンラインフェニックス祭、どう実現する？

春学期の間は、フェニックス祭を行えるかどうかでも予測がつかず、もどかしい日々を送っていた学園祭運営局のメンバーたち。局長の原さんをはじめとする幹部学生は、開催が決定したらすぐに動き出せるよう準備を進めていたそうです。

ようやく開催予定日も決まり、現在は急ピッチで企画を練っているところ。

例年のフェニックス祭では、ダンスサークルや音楽サークルなどが華やかなステージを繰り広げますが、今年も出演を打診予定とのこと。「録画した動画」と「ライブ配信」のミックスを考えているそうです。

毎年恒例、芸能人ゲストの出演も交渉中。初のオンライン開催に試行錯誤しながら、最高のフェニックス祭を目指しています。



※写真はすべて2019年度のフェニックス祭の様子



今年もオンライン開催の予定ですが、おもしろい演出になると思うので楽しみにしてください。ご意見も大歓迎です。局員を見かけたら、気軽に声をかけてくださいね！



学園祭運営局長  
原一誓さん(現代経営学科3年)

学園祭の最新情報は、  
ホームページまたはSNSでチェック！

ホームページ: [→](#)  
ツイッター: @tgu\_festival



※内容が変更となる  
可能性があります。予  
めご了承ください。

## 今号の表紙学生

### コロナ禍でもできることを探して みんなを笑顔にしたい！

学生団体(委員会・クラブ・サークルなど)を取りまとめ、クリスマスパーティーや七夕などのイベントを企画・運営してきた「学生会運営部」。白鳥さんは1年生の初夏頃からメンバーとなり、現在は会長を務めています。

そんな白鳥さんが春学期に心配していたのは、活動自粛を余儀なくされ、新入生へのPRの機会も失った各学生団体のこと。「学生会運営部として何かできないか」との想いから、学生団体を紹介するホームページやツイッターでの発信を行い、1年生の秋学期オリエンテーションに合わせて、学生団体を紹介する対面イベントも実現させました。

「今後も『この状況でもできること』を見つけて取り組みたい」と白鳥さん。学生会運営部に興味のある在生は気軽に連絡してみてください！  
学生会運営部ツイッター: @tugakuseikai



学生会長  
白鳥 さくらさん  
(人間科学科3年)



感染対策を徹底して学生団体紹介イベントを実施。10団体が参加し、1年生と交流した

新入生向け  
学生団体紹介は  
コチラ！



ホームページ: [→](#)  
ツイッター: @tyg\_shinkan

